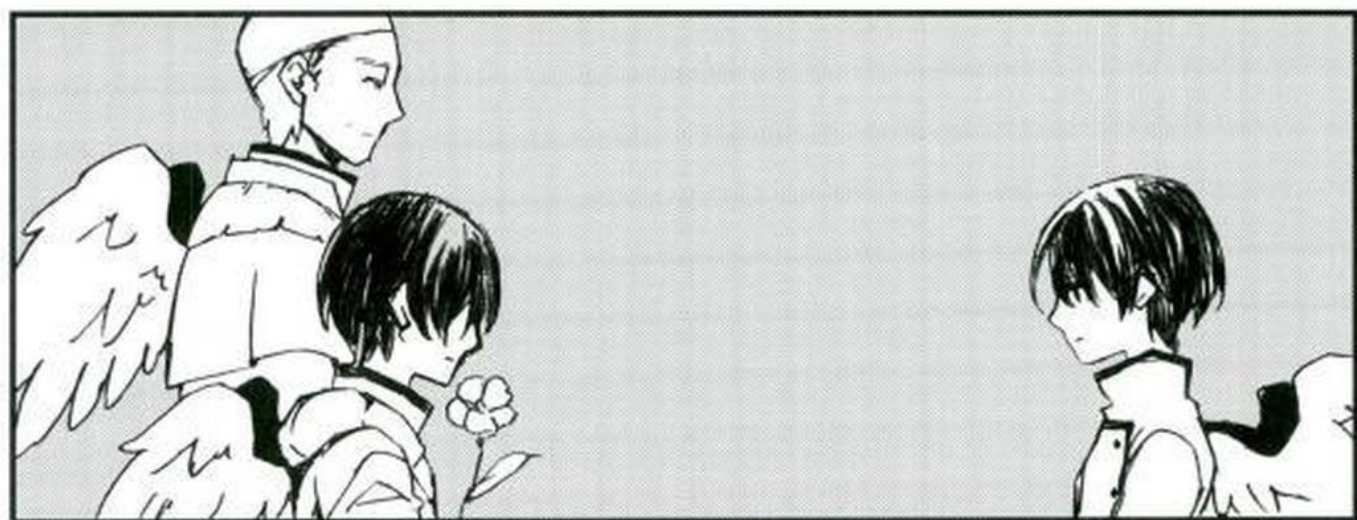


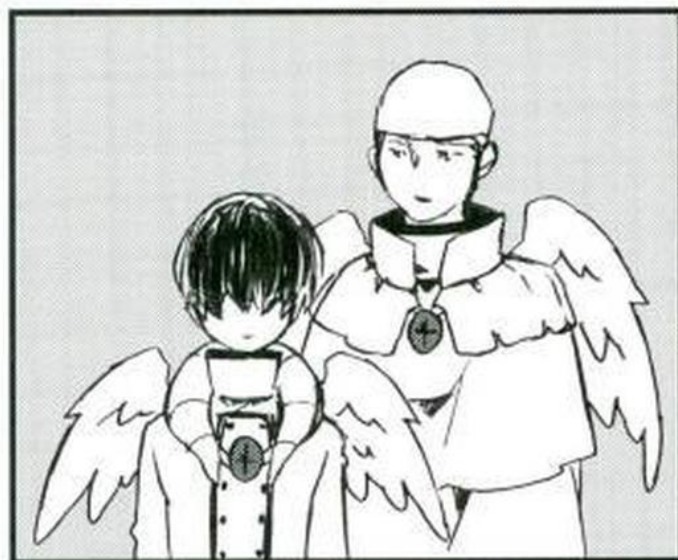
Phantom Pain





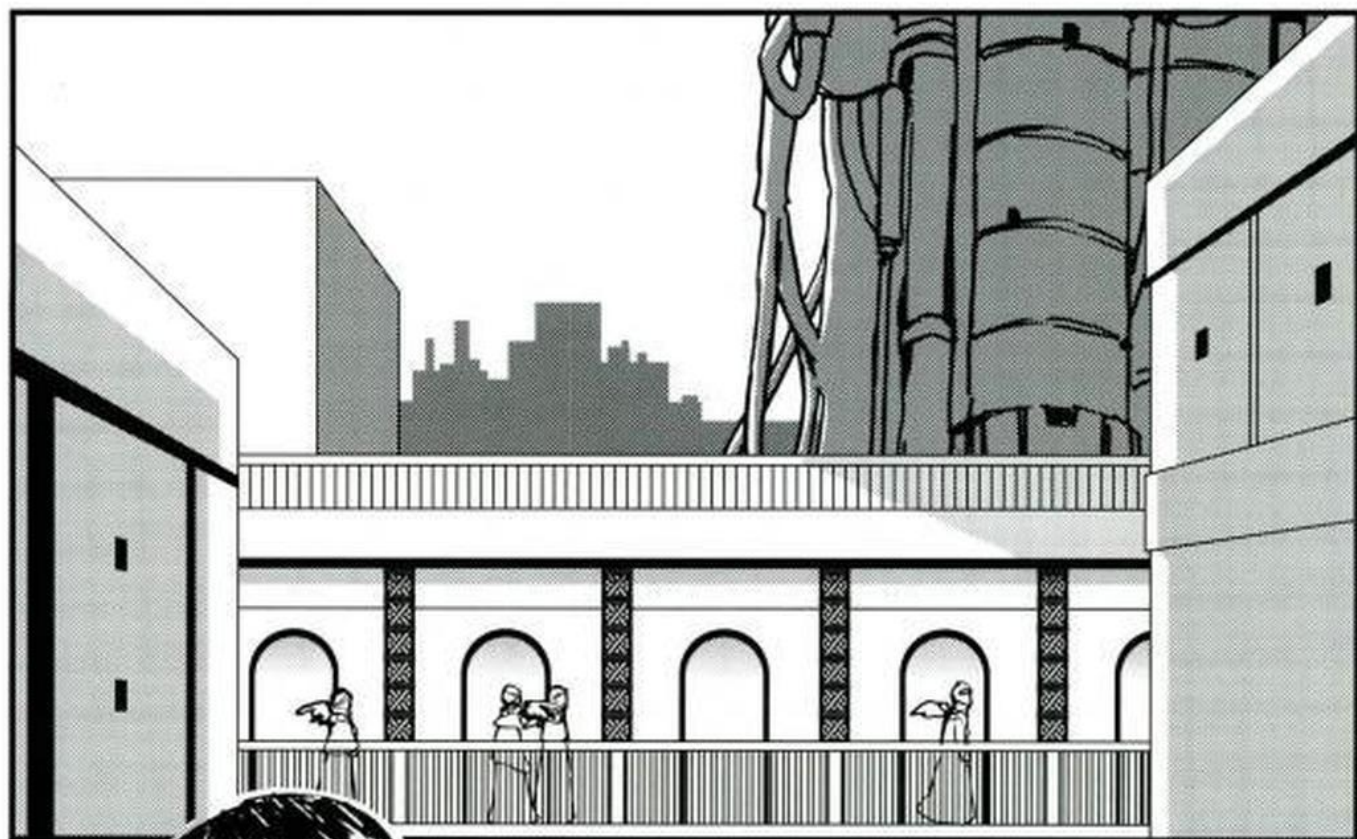




















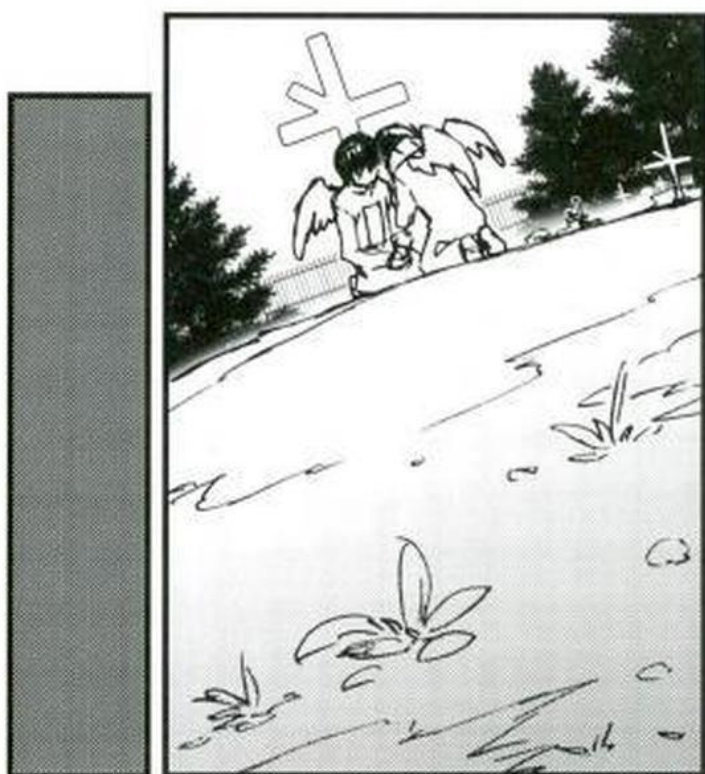
お前が
生きてさえ
いてくれれば

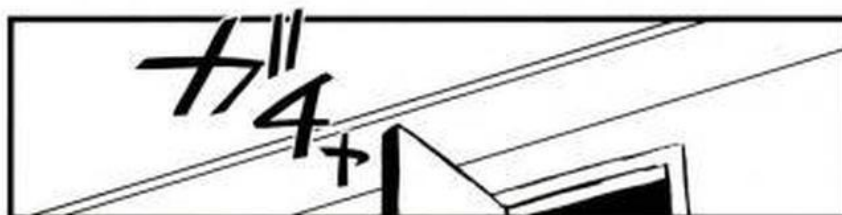


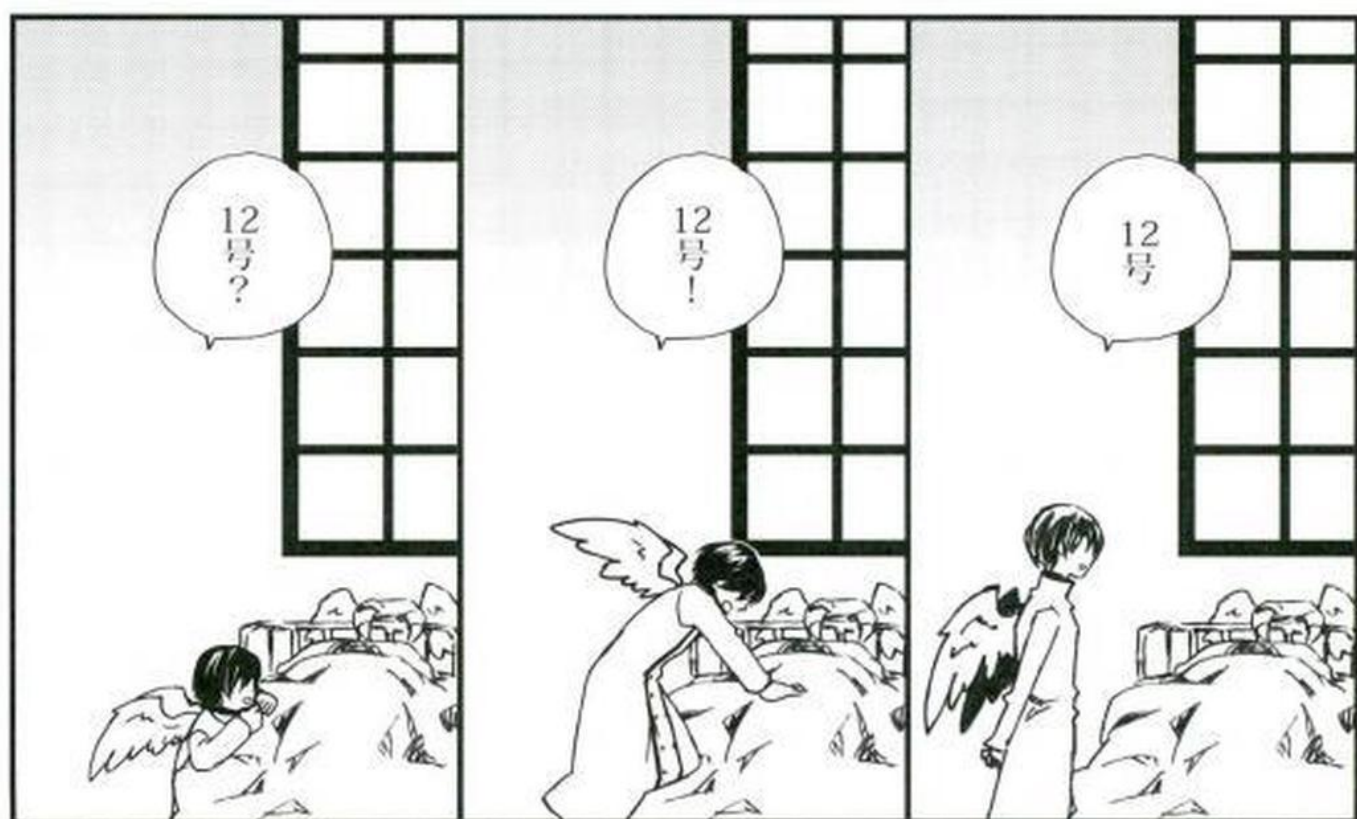
僕は
どうなったって
いいんだから

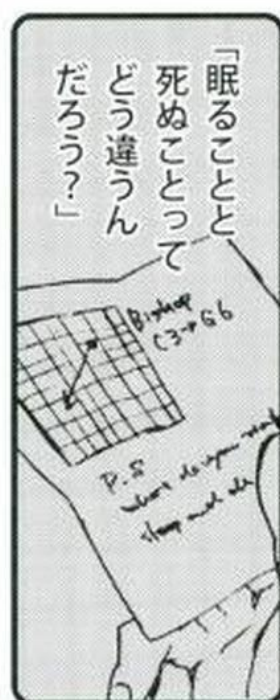


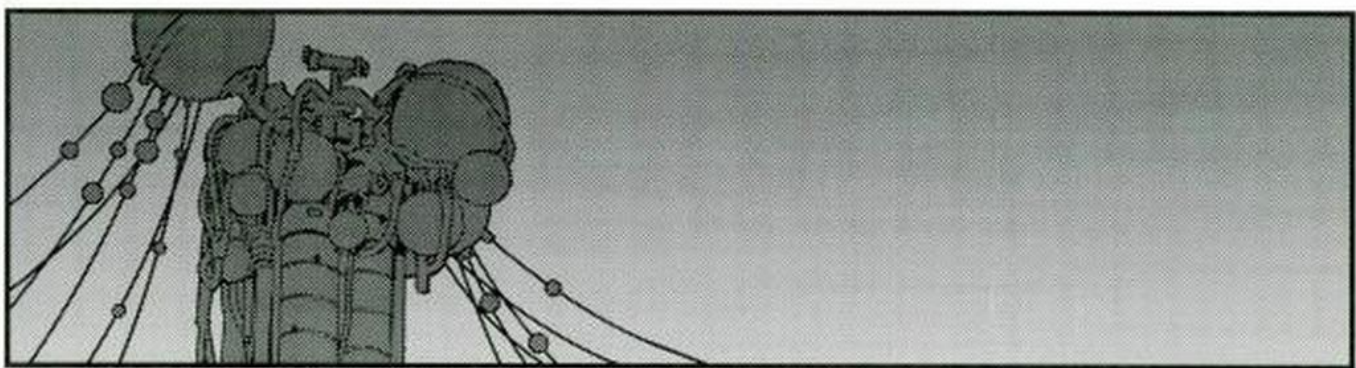
12号?











もし僕とお前
両方とも生きて
いたなら今頃
どんな感じだった
だろうって

お前は
上級天使様の
右腕として活躍
して

僕はそんなお前と
上級天使様を
天導天使様と
補佐していたかも

そうなれば
きっと
楽しいけど

二人がバラバラに
生きる未来だって
あったかもしれない

そんな未来なら
なくたっていいと
思ったんだ

むしろ今の方が
お前は僕のことを
僕はお前のことを
想いあってる

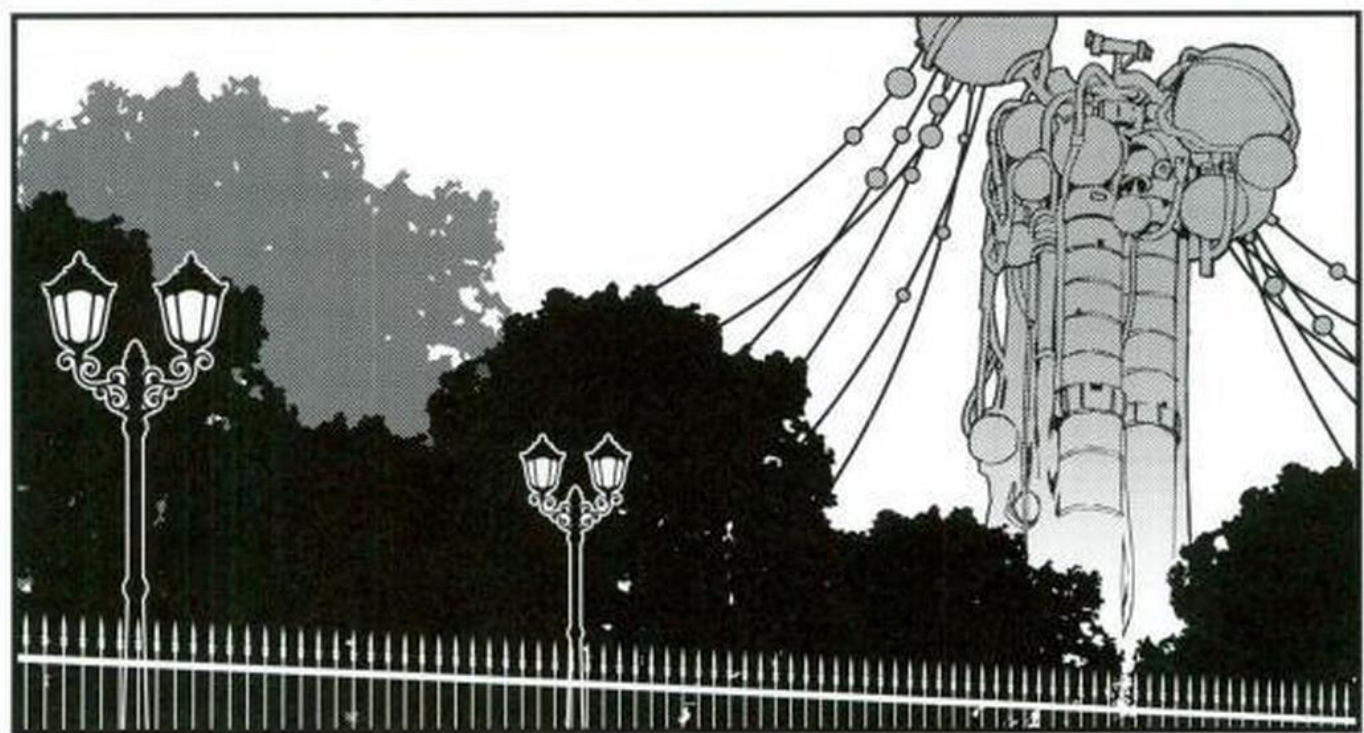
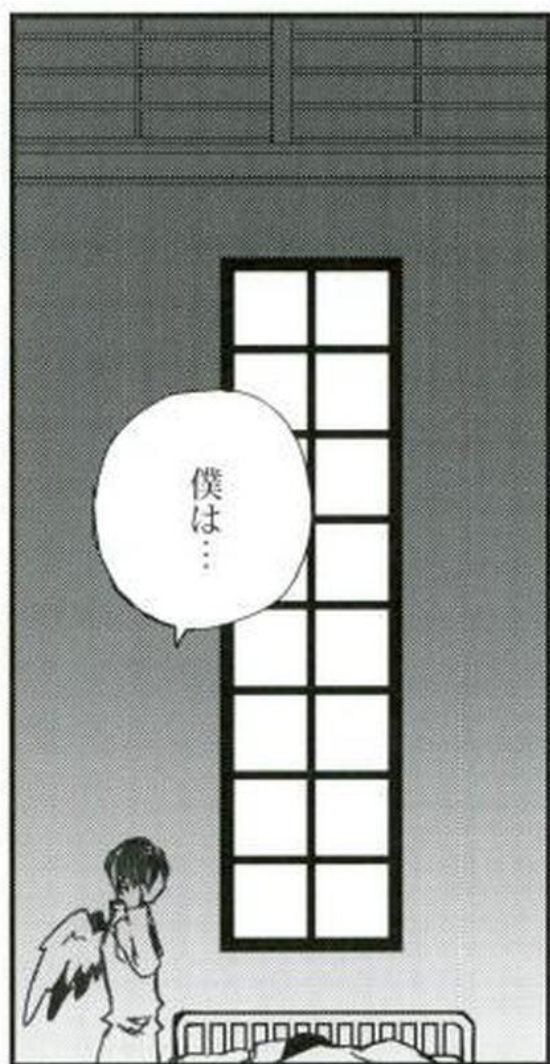
僕がお前の
かわりに
死んだから

お前は
これからも
ずっとずっと

僕のことを
想いながら
生きていくんだ

「僕」という痛みに
苦しみながら
生きていくんだ











END



Phantom Pain



BAROQUE FAN BOOK
KAMINARI